

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年2月26日

(30人中24人回答)

事業所名：こども通所サービスにじいるプラス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に合わせたスペースの確保ができています。	はい…21 どちらともいえない…3 ・狭いながらも少人数なため、のびのびと過ごせていると思う。 ・運動しやすく広がっている。 ・走ったりする時に少し危ないかなと感じる時もあるが、物を避けて通るなどの練習にもなるので、このままでいいかとも思う。	安全が確保できるように対応を続ける。
	2 職員の適切な配置	利用状況に応じて配慮できている。	はい…23 わからない…1 ・職員の数が多く、丁寧に子どもと関わっている。 ・特性だけでなく、子ども個人の良さ・伸ばすべき所を分析してもらっている。	職員の研修、採用を随時行いながら、適切な人員配置を引き続き努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	スケジュールをイラストで示したり、所持品の棚に顔写真を貼るなど、視覚支援に努めている。	はい…22 どちらともいえない…2 ・床にはマットが敷いてあり、自分の荷物を置くスペースなど写真で分かりやすくされていて、子ども自身も分かりやすい。 ・絵や写真ですることを示したり、自分の場所が分かるようにしている。 ・登所後何をするか、表やスケジュールが貼ってあり、わかりやすい。	子どもの活動が十分に確保できる対応をしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	室内は、毎日の清掃に加えて、玩具の消毒を行っている。	はい…24 ・最近、床や棚が新調された。 ・子どもの活動スペースが新しくきれいになり、いい環境の中、いい雰囲気の中通えている。 ・綺麗に整理されているので、広々とした空間になっている。 ・危険な角など保護され、安全対策がなされている。 ・手洗い場でお湯が出るようになって嬉しい。	子どもの成長に応じた環境整備に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日保育日誌を記入し、定期的なミーティングを重ねて、職員間の情報共有に努めている。		職員間で支援目標を共有し、振り返りをし意識づけ、徹底する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	特別支援学校の元校長、当法人の理事、社労士等からの意見や小学校、病院等からの評価を活用している。		今後も様々な機関と連携していき、外部評価を受けるようにしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員が積極的に各種研修会に参加する。他の事業所とのネットワーク会議に参加する。		今後も、支援に必要な研修会を内部でも実施し、職員の資質向上に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の様子観察を元に、本人、保護者のニーズの聞き取りを行う。その後、職員間で話し合い、適切な支援計画を作成している。	はい…24 ・保護者の話もしっかり聞いた上で細かく作成している。 ・こまめに話してくれるので、子どもだけでなく親の課題もしっかり分析されているのでいいと思う。 ・子どもも親も疲れてしまわない程度に頑張れる計画を作成している。 ・子ども一人一人に対して全員の先生が対応をしてくれ、個々にあった指導をしてくれている。 ・定期的な面談でしっかりとヒヤリングしてくれている。	保護者の主訴を大切にし、幼稚園・学校の担任など、子どもに関わる複数の支援者の意見を基にした計画となるよう努める。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの発達に応じた集団活動や個別活動を計画している。	はい…23 どちらともいえない…1 ・保護者の話もしっかり聞いた上で細かく作成してくれている。 ・何が課題でどのようにアプローチするのか書面や面談で伝えてもらえ内容も納得できている。 ・こんな時どのように声かけするなど、内容は具体的である。	個々の発達段階に合わせ、達成可能な作成をしていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	それぞれの特性、行動に応じた到達目標に対して、具体的な支援内容を記載している。		出来る限りスモールステップで具体的な支援内容を設定し、記載していく。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画作成に携わった職員を中心に、子どもの特性に応じて、個々の計画に即した支援を実施できるよう心がけている。	はい…23 わからない…1 ・無理なく達成できるよう支援してくれている。 ・課題に合わせて支援を変えていってもらえて助かっている。 ・子供の個性を先生方が情報を共有して下さっているおかげで子どもものびのびと楽しく元気に過ごせている。 ・活動している場面を見る機会はないが、子どもの成長を感じる。	現状に満足せず、今後も保護者との共通理解を図りながら支援の向上に努めていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	外部講師を含め、職員それぞれの得意分野でアイデアを出し合いながら立案している。		今後も継続して行っていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇では、いつもより早く通所する子どももいるため、時間の区切りをつけて行動することを意識させている。		区切りをつけて行動することで、目標を明確に意識させて活動していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1日のスケジュールの中で、固定化し習慣化する中で身につけていくプログラムと、季節に応じたイベントなどを取り入れながら立案している。	はい…22 わからない…2 ・色々なプログラムなどで楽しく運動できている。 ・子どものやりたい事や思いに目を向けてくれるので、色々されているのが伝わる。 ・子どもを不安にさせないよう、決まったプログラムを続けつつ、新しい挑戦をさせてもらっている。 ・運動や制作など多彩である。	今後も様々な経験ができるよう活動内容を工夫していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、活動開始前に1日の内容や役割分担について確認作業をしている。また、当日の活動内容とねらいを掲示し、意識共有に努めている。		職員同士が意見交換を大切にしながら、当日の支援に生かされるようにしていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	活動終了後、振り返りをして意見交換をしたり、各職員が日報に記載し、全員が周知できるようにしている。		引き続き職員間での共通意識を図っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報に活動記録を記載し、支援の振り返りに生かしている。		引き続き継続して行く。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に面談を行い、計画の見直しを行っている。		毎日の送り迎えの際に、1日の様子を伝えていく中で、今後の支援計画に繋げる。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	他の事業所との支援者会議を実施している。		他の事業所に加え、行政との支援者会議にも参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当者なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当者なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	幼稚園や小学校に子どもの様子を見学に行ったり、電話や書面で情報共有を行っている。		今後も関係機関と連携を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携(続き)	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在は行っていないが、対象者が出たのために、資料や情報の収集準備を行っている。		引き続き対応できるような情報収集に努めていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	小児精神科医、児童相談所、特別支援学校など、各種専門機関と連携を図り、事例検討会を実施している。		今後も関係機関と連携を図りながら、職員の支援向上に努めていく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当法人の保育園との交流は実施しているが、他の機関とは、コロナ感染対策のため実施できていない。	はい…6 どちらともいえない…2 いいえ…6 わからない…10 ・認可外保育園等の子たちと一緒に大規模な運動会に参加できるのは、良い経験になっている。 ・幼稚園に通っています。他の幼稚園に通っている方との交流や、子ども同士の集まりがあると嬉しい。	今後は、他の地域機関との連携活動をしていきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ感染対策を徹底した上で事業を実施した。		今後も感染対策に留意しながら実施していく。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容は契約時に、利用負担等は契約時に重要事項説明書で説明を行っている。	はい…24 ・ホームページも分かりやすい。説明も分かりやすい。 ・日々の成長を先生方から伺って、自宅ではできない事ができるようになってきたり、興味の幅が広がってきたので、嬉しく思う。	今後も継続して行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	定期的に保護者面談をし、支援計画の見直しを行っている。新たに作成した計画書を基に支援内容を説明している。	はい…24 ・支援計画が出来たら、必ず面談でしっかりと説明してもらっている。 ・いつも丁寧に受けられている。	今後も子どもの実態・成長過程を重視しながら、丁寧な説明をしていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニング講座、小児科医による講座を実施している。	はい…16 どちらともいえない…1 いいえ…1 わからない…6 ・家でどのように運動すればよいかや、対応についても知れる。 ・案内のプリントが配られている。 ・来年度は予定が合えばペアレントトレーニングに参加したいと思う。	今後もニーズに沿った講座や勉強会を計画していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援(続き)	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に幼稚園・学校や家庭での様子を聞き、事業所での子どもの状況を伝えている。また、連絡帳に日々の様子を写真付きで記載している。	はい…23 どちらともいえない…1 ・最近の様子や今日の様子を、わかりやすく教えてくれる。 ・こまめに話をしてくれるのでとても有り難い。 ・どの職員の方も話しやすく、子どものこともよく理解してくれている。 ・帰る際や連絡帳で、子どもの様子を知ることができている。 ・連絡帳を活用している。	顔が見える関係作りを、なお一層構築していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談には随時対応し助言している。必要に応じて関係機関と連携を図っている。	はい…23 わからない…1 ・就学のことから日々の困りごとなど、相談や助言を頂き助かっている。 ・行われている。	今後も引き続き、保護者の思いに添いながら支援していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ感染対策を徹底した上で実施した。	はい…16 どちらともいえない…4 いいえ…1 わからない…3 ・保護者会を開催している。 ・色々な説明会や保護者会をして下さり、色々な情報を得る事が出来て良い。 ・保護者会で話を共有できている。場を提供されている。 ・保護者の話を聞く機会があった。来年度もぜひ開いてほしい。 ・コロナ禍のため制限があると思うので。 ・参加できなかった為、どちらかわからない。	今後も保護者のニーズを踏まえて開催していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	現在、苦情はほとんどないが、苦情に対する窓口を設置し、万が一の際は、真摯に受け止め迅速な対応ができるようにしている。	はい…13 わからない…11 ・苦情があったことがないので不明。 ・苦情はないのでわからないが保育中のケガ、お友達とトラブルがあった際は説明してくれる。 ・そのような事はないがきちんと対応して頂けると初めに説明をしてもらっている。	保護者が話しやすい環境整備に努める。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもの特性に合わせ、イラストや簡単な手話を使った視覚支援をしている。保護者には送迎時や連絡帳で意思の疎通を図っている。	はい…23 どちらともいえない…1 ・送迎時などお話を聞けたりするので良いと思う。 ・手紙や口頭で伝えてもらっている。 ・子どものその日その日の様子を詳しく教えて下さり、成長を感じる。 ・連絡帳を活用している。	今後も現状に満足せず、それぞれの子どもに対応していけるように心がける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援(続き)	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の予定を掲示したり、HPの活用、お迎えに来られた時に手紙を配布し、説明をしている。	はい…19 どちらともいえない…1 わからない…4 ・教室に貼り紙もあり、声もかけてもらえている。 ・何か行事があるときはプリントが配られる。 ・連絡帳にその日の出来事を詳しく書いてくれているので毎回楽しみにしている。写真が貼ってあるのも嬉しい。	今後は、HPでの情報提供をもう少し工夫していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	書類等は鍵付き書庫にて保管。職員全員に徹底している。	はい…22 わからない…2	守秘義務の徹底に努める。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し、職員全員に徹底している。	はい…21 どちらともいえない…1 わからない…2	緊急時の対応について、職員間の徹底を図っていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練(不審者・地震・火災・水害)を行っている。	はい…13 どちらともいえない…1 いいえ…2 わからない…8	今後は、各曜日に定期的な避難訓練を実施していく。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	職員の研修を実施し、いくしあ・保健センター等、各支援施設と連携もしている。		定期的な研修会に参加する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束の該当者はない。		今後、必要になった際は、行政のマニュアルに従い、関係機関との連携を行う。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーの有無を確認し、保護者からの申し入れがあれば、医師からの診断書を提出してもらい、対応している。		職員同士で情報を共有し、アレルギー対応には責任をもって対処する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有、再発防止に努めている。		より一層安全への意識を高める努力をしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		<p>はい…20 どちらともいえない…3 わからない…1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって大事な居場所になっている。 ・子どもの安心できる場になっている。いつも楽しく通所している。 ・毎日とても楽しみに行っている。 ・行きたくないと言う日もあるが、行くと楽しく参加している様子。 	<p>今後も子どもたちにとって、楽しく安心して過ごせる場となるよう努めていく。</p>
	2 事業所の支援に満足しているか		<p>はい…24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会や勉強会、運動会があるのがとてもよいと感じている。 ・幼稚園で行けないこともあるけど非常に満足している。 ・子どもの支援も親の支援も満足している。 ・充実した時間を子どもなりに過ごし、自信と満足感、達成感を得ていい表情で帰ってくる。 ・感謝している。 	<p>今後も保護者と情報共有をしながら、支援の向上に努めていく。</p>